

後記

本誌は、私たち名古屋大学中国文学研究室の研究報告として、年一回刊行の予定である。執筆者は、本号においては結果的に大学院生・研究生に絞られる形となったが、今後はさらに幅広い層から論考を募り、内容の充実を計ってゆきたいと考えている。手書きの、余り見映えのしそうにない小冊子ではあるが、しかし、本誌は私たちにとって、各人の論考を自由に発表できる数少ない身近な場であり、同時にまた、自身の持つ意見を公にして、諸氏の批判・叱正を乞うための貴重な切磋の場でもある。ともすれば自身の殻の内に閉じこもりがちな私たちに、斬新な視界を与え、一層の奮起を促すべく、本誌に對して忌憚のない御意見・御批判をお寄せいただきたい。

なお、本号巻末には、名古屋大学所蔵の青木文庫の主要図書目録を附載した。研究の参考に供していただければ幸いである。(同文庫は、故青木正兒博士旧蔵書の一部を譲り受けたものであり、この他、風俗画・青木氏手稿・ノート類等を収めるが、これらについては次号以下に紹介の予定である。)

名古屋大学中国語学文学論集 第一号

昭和57年8月

印刷

昭和57年9月

発行

編集兼発行

名古屋市千種区不老町

名古屋大学文学部中国文学研究室

一宮市大字瀬部字清水24の4

印刷

藤井印刷所